

研究タイトル：

中世アイルランド史



| | | | |
|-----------------|--|---------|----------------------|
| 氏名： | 田中 美穂 / TANAKA Miho | E-mail： | tanaka@oita-ct.ac.jp |
| 職名： | 准教授 | 学位： | 博士(史学) |
| 所属学会・協会： | 史学会 メトロポリタン史学会 日本西洋史学会 等 | | |
| キーワード： | アイルランド ブリテン諸島史 ヨーロッパ中世史 「ケルト」 | | |
| 技術相談 提供可能技術： | <ul style="list-style-type: none"> ・アイルランドをはじめ、ブリテン諸島に関する歴史や文化全般について ・「ケルト」をめぐる問題や批判・再考について ・ヨーロッパ中世史、とくに聖人・修道院について | | |

研究内容：

【主要研究内容】

- (1) アイオナ修道院長アダムナーンが7世紀末に執筆した『聖コロンバ伝』を中心史料として、アイルランドとブリテンの王国や王権について研究をしました。
- (2) 中世に限らず、ブリテン諸島全体の王国や王権を中心とする政治史、及び各民族の「ネイション」意識の形成史に関心があります。
- (3) 中世後期までを研究対象とし、アイルランドの王国や王権、「ネイション」意識が、他地域との関わりによってどのように変わっていったのかについて考察していきます。
- (4) 「ケルト」をめぐる問題や批判・再考に関する研究も続けていきます。

【主要研究業績】

- 「中世初期アイオナ修道院とダール・リアダ王権——『聖コロンバ伝』における王の聖別の叙述をめぐる一考察——」,
『史学雑誌』第 110 編第 7 号, 2001 年, 48~71 頁.
- 「「島のケルト」再考」, 『史学雑誌』第 111 編第 10 号, 2002 年, 56~78 頁.
- 「中世アイルランドの『ネイション』意識」, 法政大学比較経済研究所／後藤浩子編『アイルランドの経験——植民・ナショナリズム・国際統合』, 法政大学出版局, 2009 年, 3~27 頁.
- 「第 5 章 イギリスの宗教と生活」, 下楠昌哉(責任編集)『イギリス文化入門』三修社, 2010 年, 130~153 頁.
- [翻訳]「第 4 章 教会とキリスト教的な生活」, バーバラ・ハーヴェー編／鶴島博和監修・吉武憲司監訳『オックスフォードブリテン諸島の歴史 4 12・13 世紀 1066-1280 年頃』, 慶應義塾大学出版会, 2012 年, 169~210 頁.
- 「アイルランド人の起源をめぐる諸研究と『ケルト』問題」『大分工業高等専門学校紀要』第 51 号, 2014 年, 1~6 頁.
- 「レンスターのウィリアム・マーシャル家—— 一三世紀アイルランドにおけるイングランド人領主や現地の王たちの闘争——」『メトロポリタン史学』第 15 号, 2019 年(近刊).

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

| 名称・型番(メーカー) | |
|-------------|--|
| | |
| | |
| | |
| | |